

2. 事業目標の設定について

資料 2

・令和4年度の利用者数見込みについて

令和4年度（令和3年10月～令和4年9月）の上半期実績

単位：人

年 月	小山田病院 発	県立総合医療 センター発	合計	1日あたりの 乗車人員数
令和3年10月	278	218	496	23.6
令和3年11月	283	198	481	24.1
令和3年12月	294	175	469	22.3
令和4年 1月	238	159	397	22.1
令和4年 2月	230	152	382	21.2
令和4年 3月	274	183	457	20.7
計	1,597	1,085	2,682	22.3

令和4年度（令和3年10月～令和4年9月）1年間の利用者数見込みは5,364人/年（2,682人/半期×2）となる。

市内バス事業者（三重交通、三岐鉄道、生活バス四日市）の新型コロナウイルス感染症の影響は下記のようにになっている。

(%)

	令和元年度の利用者数を100%とした場合の利用者数割合
令和2年度	76.4
令和3年度	83.1

令和2年度と令和3年度を比較すると利用者数は6.7%の上昇している。

令和5年度の利用者がこのペースで回復すると、令和5年度の利用者数見込みは5,723人/年（5,364人×1.067）となる。

また利用促進策として四日市市と三重交通が連携し、地域に利用啓発活動を行うとともに、お買い物ツアー等の利用促進イベントを実施する。イベントを年間4回行い、1回あたり25人の参加者を想定すると、最寄りのバス停とイベント会場の往復で200人が乗車する。

以上より、令和5年度（令和4年10月～令和5年9月）の目標は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が落ち着き、利用促進イベント等による利用者数増加を見込み、6,000人とする。

(参考)こにゅうどうくんライナーの利用者数(令和3年度の実績)

令和3年度(令和2年10月～令和3年9月)

単位:人

年 月	小山田病院 発	県立総合医療 センター発	合計	1日あたりの 乗車人員数
令和2年10月	296	225	521	23.7
令和2年11月	268	95	363	19.1
令和2年12月	276	119	395	18.8
令和3年 1月	242	141	383	21.3
令和3年 2月	234	133	367	20.4
令和3年 3月	309	170	479	20.8
令和3年 4月	305	210	515	23.4
令和3年 5月	232	157	389	21.6
令和3年 6月	307	208	515	23.4
令和3年 7月	289	202	491	24.6
令和3年 8月	259	176	435	21.8
令和3年 9月	294	226	520	26.0
計	3,311	2,062	5,373	22.1